



|                |    |
|----------------|----|
| 6月定例会の概要.....  | 2  |
| 議決議案.....      | 3  |
| 一般質問（10人登壇）... | 4  |
| 補正予算等の審議から...  | 14 |
| 議員全員協議会.....   | 15 |
| 復興対策特別委員会..... | 15 |
| 常任委員会活動報告..... | 15 |
| 議会の動き.....     | 16 |

平成29年  
6月定例会 No. 149

少年サッカー四年生以下大会（北上市内開催）で  
優勝した釜石ロビンフットボールクラブ



## 6月定例会の概要

# 復興後のまちづくりに議論集中

## 魚河岸にぎわい施設に不安が表面化

6月定例会は、6月12日から23日まで、12日間の会期で開催しました。初日には、市長から、尾崎白浜地区並びに佐須地区の林野火災、復興事業の進捗状況、岩手大学釜石キャンパスの開設、新しい釜石市魚市場の供用開始についての報告がありました。

20日からは10人が一般質問に登壇し、復興事業、観光行政、教育行政、福祉行政などさまざまな行政課題について議論を行い、市当局の考えをいただきました。今定例会に付託された市長提出議案30件は、全て原案のとおり可決、了承、承認、同意しました。また、議員提出議案1件についても全会一致で可決しました。

### 若者定着

少子高齢化等により、当市の人口は、2040年には、2万1503人まで減少すると予測されています。人口減少に歯止めをかけるため、U・Iターン者の増加につなげる魅力的な施策を行う必要があるのではないかと、新たに地場企業や販路開拓等の中核を担う人材の募集、誘致に関する取り組みを実

施していくと答弁がありました。また、若者流出防止策に対し、若者の希望に合った就業の場を創出し、あわせて、若者や子育て世代が希望を持つて仕事と子育ての両立ができる環境を整えていくことも重要と認識していると答弁がありました。

### 魚河岸のにぎわい

海と魚の交流拠点づくりについて、魚河岸に施設が整備されることにより、市内の類似施設とのすみ分けはどうなるのかなど、魚河岸のにぎわい施設との今後の連携についての議論が交わされました。

当局からは、細目はこれからであるが、お互いに無い部分を補完し合い、それぞれ、一翼を担えるよう、

さらに関係者との協議を進めていきたいとの答弁がありました。

### ラグビーワールドカップ2019

ラグビーワールドカップ開催の機運醸成のため、特別仕様のナンバープレートを取り付けや、子ども未来基金を活用して機運を盛り上げてはどうかなどの議論が交わされました。

当局からは、個人の財産に対する助成は難しいが、子ども未来基金に関しては、大会運営経費、仮設の費用に充てたいとし、基金を先行してナンバープレートのために取り崩すことは考えていないとの答弁がありました。

このほかにも、サブグラウンドの使用のあり方についても議論が交わされました。

# 議 決 議 案

## 条 例 関 係

- 過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に申し承認
- 市税条例の一部を改正する条例の専決処分に申し承認
- 市立幼稚園に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分に申し承認
- 市職員の育児休業等に関する条例及び市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
- 市税条例等の一部を改正する条例
- 復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

## 予 算 関 係

### 【平成28年度予算】

- 一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認
- 一般会計繰越明許費の報告
- 水道事業会計予算繰越の報告
- 公共下水道事業会計予算繰越の報告
- 一般会計事故繰越しの報告

### 【平成29年度予算】

- 一般会計補正予算（第1号）
  - ・17億6600万円増額。総額663億5100万円。
  - ・祈りのパークの設計などの進捗に伴い、必要と認められる土盛りや構造物等の整備費を増額する鶴住居地区津波復興拠点整備事業6648万円、平田幼稚園のこども園化に伴い必要となった給食施設を民間事業者が整備するにあたり、県の基準に基づく補助金の不足額を増額する市立平田幼稚園こども園化改修事業費補助金1925万円、釜石食ブランド開発検討協議会が行う特産品の普及や販路拡大への事業に対して助成する物産振興費76万円、老朽化した二本梨川の河川構造物の改修を行う河川改良事業3560万円、地方創生拠点整備交付金を活用して郷土資料館の改修を行う鉄のふるさと拠点創造事業（郷土資料館改修整備事業）5000万円、平成29年10月の完成に向けて、精算に伴う事業費を増額する市民文化会館災害復旧事業1億2000万円など。
- 公共下水道事業会計補正予算（第1号）
  - ・収益的収入及び支出をそれぞれ600万円増額。
  - ・管路施設管理費に修繕費を計上。
  - ・資本的収入及び支出をそれぞれ1億378万円増額。
  - ・復興事業に関連して東部市街地污水管末端管路整備事業などの建設改良費を計上。

## 一 般 議 案

- 平成28年度仮宿漁港災害復旧工事の変更請負契約の締結に関する専決処分の報告
- 箱崎半島線道路新設工事（その5）の変更請負契約の締結に関する専決処分の報告
- 北ブロック復興整備事業両石地区造成工事（その11）の変更請負契約の締結に関する専決処分の報告
- 中央ブロック復興整備事業仮置場整備工事（その6）の変更請負契約の締結に関する専決処分の報告
- 公用車による車両損傷事故に係る損害賠償事件に関する専決処分の報告
- 室浜漁港海岸災害復旧（その3）工事の請負契約の締結
- 中央ブロック復興整備事業嬉石松原地区造成工事（その7）の請負契約の締結
- 小佐野小学校校舎増築建設（建築主体）工事の請負契約の締結
- 港町2号線道路整備（その1）工事の変更請負契約の締結
- 港町2号線道路整備（その2）工事の変更請負契約の締結
- 北ブロック復興整備事業両石地区造成工事（その12）の変更請負契約の締結
- グランドピアノの取得
- 大只越復興住宅2号（仮称）の取得
- 議決事項の一部変更
- 過疎地域自立促進計画を変更すること
- 鶴住居運動公園整備工事の請負契約の締結

## 人 事 案 件

- 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて
  - ・新たに村上清さんを推薦することに同意。

## 議 員 提 出 議 案

- 議員定数等検討特別委員会の設置
  - ・厳しい地域経済や社会環境の現状等を踏まえ、特別委員会を設置して、議員定数等に関する調査検討を行おうとするもの。（全会一致により可決）

※金額については、一部千円以下切り捨てて掲載





古川 愛明  
(海盛会)

質問項目

- ・綱紀肅正について
- ・ラグビーワールドカップについて
- ・復興まちづくりについて
- ・待機児童について
- ・国保税徴収誤りについて
- ・釜石東中学校での水漏れについて

## ラグビーワールドカップの気運醸成は

### 市民と共に効果的な事業展開に努める

**議員** 2019年に開催さ

れるワールドカップ、まだ2年もあると考えるか、もう2年しかないと考えるかで種々の活動も違ってくる

とともに、三陸沿岸全域の観光促進と地域創生にまたさない好機であり、これを大きな地域の誇りとして、将来にわたり「ラグビーのまち・釜石」を標榜しながら、釜石市復興まちづくり基本計画に掲げる将来像「三陸の大地に光輝き、希望と笑顔があふれるまち釜石」の実現に通じるものと認識している。5月27日には、ラグビーワールドカップを2大会連続で優勝したニュージーランド代表・オールブラックスの主将リッチー・マコウ氏が来県され、当市をはじめ、北上市、盛岡市

**市長** ラグビーワールドカップ2019の開催は、東日本大震災被災地のみならず、東北を代表しての開催であり、これまでさまざまなご支援とご協力をいただいた全国及び海外の方々に、感謝の気持ちと復興の姿を発信する機会であると

を訪問され、それぞれトークイベントやラグビーセッ

ションで地元の方々と触れ合っていたら、こうしたイベントや報道もあって、ラグビーワールドカップに対する市民の皆様の関心・興味も徐々に高まってきていると思うが、今後さらなる気運醸成が必要と考えているので、県及び実行委員会等と連携しながら、今後とも積極的なイベント開催等、効果的な事業展開に努めていく。

## 国・県の生活再建支援金

**議員** 被災者支援ガイドブックには「公営住宅に入

居すると今後、市の住宅再建補助は受けられません」とあるが、国・県の補助金はどのようなものか。

**復興管理監** 被災した方々への

住まいの再建については、復興公営住宅の整備あるいは自力再建に係る各種補助制度により、支援を行っているところである。この中で、被災者生活再建支援金の加算支援金と岩手県の住宅再建補助金につ



工事中の釜石鵜住居復興スタジアム（仮称）

いては、一旦、復興公営住宅に入居した方でも、その後何らかの事情で自宅を再建することになった場合、要件を満たしていれば受給できることとなっている。一方で、当市の住宅再建補助金については、一旦、復興公営住宅に入居した方は受給できないと定めている。

# 若者の流出を防ぐには

## 若者が希望を持てる環境を整える

**議員** 第170回東北市長

会総会にて、東日本大震災の被災地から若者の域外流出を防ぐための特別決議が採択された。これを受けて当市の若者流出防止の考えは。

**市長** 若者の地元定着のためには、若者に魅力的な就労の場の確保が重要と捉えており、若者の希望に合った、働きやすさや仕事のやりがいを感じられる就業の場を創出していくとともに、

幼少期から地元企業や地域産業に触れる機会を提供しながら、地域で働く意識の醸成を図っていく必要がある。

と考えている。あわせて、若い世代の定住化に向けては、子育てにかかる経済的負担の軽減や住まい確保への支援など、若者や子育て世代が希望を持って、仕事と子育ての両立ができる環境を整えていくことも重要と認識している。

**議員** 釜石ふるさと寄付金について、当市の現状の寄付金額をどのように捉えているのか。また今後の寄付金活用については。

**総務企画部長** 返礼品のさらなる充実と当市の物産振興につなげていきたい。寄付金を増加させるためには、

魅力ある返礼品の品揃えとあわせて寄付者が応援したくなるような、新たなまちづくりの観点から、政策や事業に積極的に取り組んでいく必要があると考える。

ふるさと寄付金の今後の活用については、寄付者の意向を尊重した活用を基本とした当市全体のまちづくりのために、幅広い事業に活用できるよう再検討し、寄付金の効果的な活用に取り組んでいく。

**議員** 市内の廃校になった小学校、中学校は現在どのような状態か。また今後の活用の方向性は。

**総務企画部長** 小佐野中学校、小川小学校、大松小学校、橋野小中学校の以上4校あり、主に市の文書、物品の保管場所としている。旧小川小学校には、東日本大震災で被災された方から預かっている物を保管している。今後の活用の方向性は、旧小佐野中学校、旧小

川小学校、旧橋野小中学校は旧耐震基準により整備されており、耐震化または解体が必要な状況となっている。新耐震化基準により整備された旧大松小学校は安全性が確保できていることから、解体をせず、物品保管倉庫とグラウンドの一般開放を継続する。

川小学校、旧橋野小中学校は旧耐震基準により整備されており、耐震化または解体が必要な状況となっている。新耐震化基準により整備された旧大松小学校は安全性が確保できていることから、解体をせず、物品保管倉庫とグラウンドの一般開放を継続する。



旧小佐野中学校



佐々木 聡  
(清流会)

### 質問項目

- ・若者の流出防止について
- ・釜石ふるさと寄付金について
- ・廃校になった校舎について
- ・情報発信について



水野 昭利  
(民政クラブ)

質問項目

- ・企業誘致について
- ・国民健康保険について
- ・介護保険について

## 企業誘致に取り組んでいる企業は

## 数社と交渉中で公表できる段階ではない

**議員** 釜石市とSMCとの

間で平成27年3月当市に工場建設する立地協定を結び土地開発公社が約8千坪の土地を購入、造成して売却したが、まだ建設されていないが建設時期・操業予定時期と従業員採用予定人数は。

**産業振興部長**

現在、総発電容量42900キロワットの風力発電施設として、平成16年12月に運転開始し、順調に稼働しており、拡張計画は和山牧場を中心とするエリアに1基あたり2千キロワットの風車を50基程度増設し、総発電容量で10万キロワット級の発電施設を計画している。市としては発電事業者、栗橋牧野農業協同組合等の協力を得て実現に向けて取り組んでいる。

**市長**

たびたび本社を訪問し、事業規模拡大や雇用確保などについて積極的な要請を行ってきた。今後、規模や建設時期など、具体的な動きが明らかになる。

**議員** 釜石市・遠野市・大槌町にまたがる風力発電施設の拡張計画が運営会社の

取材で分かったと報道されたが、それによると本年度着工、平成30年1月運転開始を目指すといったが進捗状況は。

組んでいる。計画提示以降、環境アセスメントや詳細な風車レイアウトの設計など計画の具体化に向けた取り組みを進めたが、商業運転の前提となる系統連系に係る送電網の容量不足等から、現在、改めて系統連系に向けた調整を東北電力と行っている。発電事業者は引き続き計画実現に向けた取り組みを積極的に進める意向を示している。

組んでいる。計画提示以降、環境アセスメントや詳細な風車レイアウトの設計など計画の具体化に向けた取り組みを進めたが、商業運転の前提となる系統連系に係る送電網の容量不足等から、現在、改めて系統連系に向けた調整を東北電力と行っている。発電事業者は引き続き計画実現に向けた取り組みを積極的に進める意向を示している。

組んでいる。計画提示以降、環境アセスメントや詳細な風車レイアウトの設計など計画の具体化に向けた取り組みを進めたが、商業運転の前提となる系統連系に係る送電網の容量不足等から、現在、改めて系統連系に向けた調整を東北電力と行っている。発電事業者は引き続き計画実現に向けた取り組みを積極的に進める意向を示している。

組んでいる。計画提示以降、環境アセスメントや詳細な風車レイアウトの設計など計画の具体化に向けた取り組みを進めたが、商業運転の前提となる系統連系に係る送電網の容量不足等から、現在、改めて系統連系に向けた調整を東北電力と行っている。発電事業者は引き続き計画実現に向けた取り組みを積極的に進める意向を示している。

### 国民健康保険

**議員**

現在、国民健康保険は市町村で財政運営しているが、来年度から県に移管されるが、その影響は。

**市民生活部長** 当市の国保税は県内他市町村に比較して低額なので、引き上げが必要とされている。

**議員**

その際は、県に対して税の激変緩和措置を働きかけ、市の国保会計の財政調整基金の積立金を取り崩し、急激に税が上がらないように検討してはどうか。

**市民生活部長**

検討する。

### 特養入居待機者

**議員**

現在の特別養護老人ホーム入所待機者数と解消対策は。

**保健福祉部長**

在宅待機者42人で対策としてグループホーム等のほか在宅系サービス施設等の利用を計る。



風力発電風車（和山）



# 総合管理計画の見直しは

## 概ね10年を目安に検証したい

**議員** 建築系公共施設総量の適正化について、他市との比較をされている。当市は人口一人あたりの延床面積は8・4㎡で、東北圏の人口3万人規模の類似自治体の平均6・4㎡と比較すると一人あたり2㎡程度上回っていることになる。この状況をどのように捉え評価されているのか伺いたい。

**総務企画部長**

当市の保有する建築系公共施設は、類似自治体の平均延床面積を超えているが、公営住宅については、震災で被災された方の住まいとなる復興公営住宅が平成28年9月時点

で38施設、延床面積が7万㎡強あり、人口一人あたりに換算すると2㎡程に相当すること、学校教育施設については、人口の多い時代に整備された小中学校で廃校となった今も残存し、人口一人あたりの延床面積を押し上げていること、さらには地形的な要因により集落ごとに施設が必要であることなどが類似自治体の平均延床面積を超えている理由ではないかと分析している。今後さらには人口減少が予想されることから、持続可能な行政経営のために一人あたりの延床面積を減

らしていく努力が必要になるものと考えている。

**議員**

「民間でできるものは、できるだけ民間に委ねる」を基本とし、代替可能な施設サービスは計画的に民間移管の検討を推進するとしているが対象施設は。

**総務企画部長**

市のほかには民間でも実施しているものについては、積極的に検討を進めたい。施設の移管はできていないが、既に民間が経営する「かまいしこども園」があり、「平田幼稚園」も来年度からのこども園化・民営化を目指し準備を進めている。今後は先進

事例や課題、当市での民営化や民間移管の可能性などを追求しながら、個別計画の策定に取り組んでいきたい。

**議員**

新たな施設の整備も公表されているが、その場合、既存施設の削減費用や新たな管理費が見込まれることから、総合管理計画の見直しが必要ではないのか。

**総務企画部長**

個別計画の策定により、各施設の最適な状態を示すとともに、計画の見直しについては、概ね10年を目安に計画を検証し、その時点での財政状況や社会情勢、公共施設等の管理に関する制度の変化などを踏まえて計画の見直しを行いたい。



釜石市立平田幼稚園

山崎 長 栄

(公明党)

### 質問項目

- ・ 公共施設等総合管理計画について
- ・ 復興事業について



菊池 孝  
(日本共産党)

質問項目

- ・大震災後の対応とまちづくりについて
- ・教育行政について
- ・福祉行政について

## 防災センターをめぐる判決の受け止め方は

### このようなことが起こらない対策を取りたい

**議員** 住民162人が犠牲

となった鶴住居地区防災センターをめぐる訴訟で、盛岡地裁は遺族の訴えを退ける判決を出したが、今回の判決を市はどのように受け止めているのか。

**市長** 多くの方々が亡くなっていることも事実であり、遺族の心情を思えば、こうした事態になったことは誠に残念なことと思っている。二度とこのようなことが起こらないよう、出来る限りの対策を取りたい。

**議員** 大震災後の当市は、被災者のくらしの再建を優先に進めているが、国のス

ポーツ基本計画に基づく、今後のスポーツ振興をどのように考えているのか。

**市民生活部長** 体育施設などの早急な復旧とともに、地域や各種スポーツ団体、企業、学校など、市民が一体となり、誰もが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しみ、楽しめるような生涯スポーツ社会の実現を目指したい。

**議員** 国会答弁における安倍首相の「憲法や教育基本法等に反しない形での教育勅語」発言をどのように捉えているのか。

**教育長** 小・中・高等学校

の歴史や倫理の教科書には「教育勅語」の記述があるが、このような教材をもとに、歴史的な背景等を踏まえて、憲法や教育基本法等に反しないよう適切に指導したい。

**議員** 4年後、中学校の保健体育で必修の武道の選択肢として、銃剣道が持ち込まれることへの対応は。

**教育長** 経費の面や地域・学校の実態からも、全ての学校で柔道を選択している状況は、大きく変わらないものと考えている。

**議員** 来年度から、国民健康保険の運営主体が県に移

管される中で、当市は一人あたりの年間保険料が3万7435円増額となる試算が示されているが、市民への影響は。

**市民生活部長** 当市は一人あたりの保険税額が県内でも低い方であることなどから、約40%増加するとの試算結果となっているが、県

との調整を図りながら、適切な保険税額となるよう対応したい。

**議員** 当市における難病患者の実態はどのようになっているのか。

**保健福祉部長** 平成28年3月末で51疾病315人、本年3月末で52疾病317人となっている。



国民健康保険の窓口



# 防災拠点・ヘリポートの整備が急務では

## 受け入れ場所、用地の可能性を探りたい

**議員** 防災拠点・災害時におけるヘリコプターの離着陸や救急患者の搬送ができるヘリポートの整備が急務では。

**U・イターン者への取り組み**

**市長** 当防災拠点として、鈴子町の消防庁舎周辺のほか、釜石中・甲子中・旧大松小・仮設東中・鶴住居小学校庭の跡地の活用を考えている。また、大規模災害に対応できる大型ヘリの離着陸可能なヘリポートが必要であると感じており、新たに活用できる場所の確保の可能性を探り、防災拠点・ヘリポートの整備を図り、市民の安全・安心に努める。

**議員** 釜石へのU・イターン就職を希望する方と人材を求める企業とのマッチングを支援しているとのことだが、その中身は。

**産業振興部長** 釜石市U・イターン希望登録制度に登録していただいた方に求人情報や就職面接会などの情報を定期的に提供し、釜石への就業を支援している。

**尾崎白浜地区林野火災**

**議員** 林野火災において、今後、雨が降った場合、海に流れ込む泥水で魚介類に多大なダメージを与えるのではないかと。また、森林復旧に向け、どのように取り組んでいくのか。

**産業振興部長** 豊かな海を育む上で森林の持つ役割は重要である。林野火災被害地の林地再生を総合的に推進することを目指すとして、県沿岸広域振興局、釜石地方森林組合及び市を構成員として、「釜石市尾崎白浜・佐須地区林地再生対策協議

会及び連絡会議」を設置し、対応している。漁業への影響についても、同協議会において、今後の状況を注視し、対応策も含めて協議検討を進めていく。

**甲子川の整備状況**

**議員** 甲子川沿いには多くの住家があり、再び大雨が

降れば氾濫するのではと住民が不安に思っている。甲子川の整備状況について、県から確認しているのか。

**建設部長** 県からは、7カ所の査定を受け、松倉橋上

流部は、現在、護岸工事を実施している。他の6件は秋頃を目途に発注することを予定し、現在その準備を進めているとのことである。



甲子川松倉橋上流の護岸工事



千葉 榮

(21世紀の会)

### 質問項目

- ・Uターン・イターンの取り組みについて
- ・防災拠点（応援車両受け入れ）及びヘリポート設置の必要性について
- ・尾崎白浜地区林野火災について
- ・河川の整備について



合 田 良 雄  
(海盛会)

質問項目

- ・なりわいの再生について
- ・観光行政について
- ・教育・人材育成について
- ・市民ホールについて

## 「市民ホール」の運営のあり方は

### 事業を通じて地域課題の解決を

**議員** 東日本大震災から6年が経過したが、被災事業所のうち、営業を再開している事業所数及び再建支援策は。

**産業振興部長** 半壊以上事業者1035のうち、再建済み545、休廃業313、再建予定32、仮設店舗営業145となっている。当市としても、事業者の再建を後押しするため、「再建支援パッケージ」を創設し、一人でも多くの事業者の再建を支援していきたい。

**議員** このたびの魚市場のオープンにより、水産業の復活を期待しているが、市

では水産業に対してどのような支援を考えているのか。

**市長** 「釜石市水産振興ビジョン」を策定し、水揚げ増強、漁業後継者の育成、水産物の付加価値向上などに取り組みながら、「魚のまち釜石」の復活に向けてさらなる取り組みを進めたい。

**議員** 震災前に運航していた観光船「はまゆり」の復活の考えは。また、クルーズ船寄港の誘致をすれば、ラグビーワールドカップのたくさんの方の来訪者につながると思うが。

**産業振興部長** 震災前の観

はどのようなになるのか。また、市民が元気になるような催し物を企画してほしいが。

**市民生活部長** 指定管理者制度によって運営を行うが、経費の削減、サービスの向上、公の施設の管理に関して新たなビジネスチャンスが生まれる。

公共ホールを取り巻く環

境も、平成24年施行の「劇場音楽堂等の活性化に関する法律」の施行により、文化芸術に関する活動を行うための施設としての機能に加えて、復興への取り組みや人口減少、高齢化、若年層の流出など事業を通じて地域課題の解決を図ることを、当市でも取り組んでいくものである。



建設が進む釜石市民ホール（仮称）

**議員** 「市民ホール」が今年の11月に完成するが、運営



# 手助けの必要な方にヘルプカードの導入を

## 意義等の周知に努め導入を進めたい

**議員** 誰もが安心して暮らすことができ、気軽に掛けられる街づくりの構築には、施設整備等のハード面のみならず障がい者のためのソフト面の施策の展開や、ノーマライゼーションの醸成も併せて推進することが必要であると考えている。当局は、生活環境の整備について、特に大震災後の復興街づくりでは、ユニバーサルデザインの理念を広く取り入れ、施設のバリアフリー化に配慮しているとの事である。しかし、障がいのある方から、震災後に整備されたフロントプロジェクト

1に不便を感じているという声が既にある。この声に対する当局の所見を伺う。

**保健福祉部長** イオン手前

にある市営駐車場の所にスロープがあり、車イスの方が移動できるようになっている。整備にあたっては車イスの方が自分で移動できるという基準を考慮しているが、実際に使用した方からは傾斜がきついと直接伺った。これは一例だが、街づくりの観点から、ハード整備をする時に障がいのある方実際の声がいかにかに大事かという事を身をもって知らされた。障がいのあ

る方の立場に寄り添うという姿勢をいつも申し上げながら、実際にはそういう状態になっていないという事を我々は反省しなければならぬと思うている。今後はハードの整備基準を満たしていると言いつつも、そこで補えないものがあるとするれば、人の心、ボランティアのような心の支援を含め、福祉を地域の中で作り上げていきたい。勿論、ハード整備に於けるマスタープランの中に障がい者の声を反映していきたいと思う。

## ヘルプカード

**議員**

外見上では判断がつかない障がい者や手助けを必要とされる方が、緊急時や災害時等に遭遇した際、助けを求めるものがヘルプカードだ。この施策を導入し、安心して外出できる街づくりを進めてはどうか。

**保健福祉部長**

障がいのある方々が安心して外出できる街づくりには、ヘルプカードの導入及び普及は有効な施策になると考える。その為にも、地域の方々にヘルプカードの意義を十分に周知し、併せて障がいの特性への理解を深める取り組みを行いながらヘルプカードの導入を進めたい。



大町広場と市営駐車場を結ぶ通路

※ノーマライゼーション…障がいのあるなしにかかわらず地域において、ごく普通の生活をしていけるような社会をつくること。

細田孝子

(公明党)

### 質問項目

- ・環境整備について
- ・教育行政について
- ・福祉行政について



坂本良子  
(日本共産党)

質問項目

- ・大震災後の生活再建について
- ・産業振興と安定した雇用の確保について
- ・介護保険制度について

## 復興住宅の手すり整備は行政の責任で

### 医療費・介護保険 利用料免除の継続

## 共通仕様は必要、手すりは市が設置する

**議員** 復興公営住宅のほとんどは、最初から手すりが整備されている。そういう中、上中島地区第2期工事中、復興公営住宅は未整備となっているが、整備されなかった理由は何か。また、住まいの格差解消に手すりは行政の責任で整備する必要があると思うが。

し、他の住宅と共通仕様とすることは必要であると考え、玄関の手すりは市が設置する。

### 子どもの心のケア

**議員** 岩手県による「子どもの心のケアセンター」が宮古、気仙、釜石に順次開設され、週に1度の巡回で受診が行われている。震災後6年目に入り、受診件数が急増し、深刻な状況となっているが、当市の受診状況は。また、今後の事業の継続はどのようになっていくのか。

**保健福祉部長** 宮古、釜石、気仙ごとの診療状況は公表されていないが、平成25年度は340回の開催で2063件、平成26年度は383回で4013件、平成27年度は361回で4620件、平成28年度は378回で6379件であり、診療件数は年々増加している。

県は、今後も被災者支援を対象とした交付金の活用での実施を考え、必要性について国に伝えていくと伺っている。

**議員** 復興事業の大幅な遅れは、被災者の方々への健康に及ぼす影響も大きいことから、今後も医療費・介護保険利用料免除の継続は必要であると考えているが。

**市民生活部長** 国及び県からの財政支援が無ければ、これまでどおりの免除の実施は困難と思われる。県では8月上旬に、国民健康保険及び介護保険の各保険者である市町村に対して、平成30年1月以降の一部負担金免除及びサービス利用者負担額免除についての意向確認を行う予定となっている。当市として、被災地域の自治体等と情報を共有し、国及び県の動向を見極めながら対応していく。



復興公営住宅（上中島町）

**危機管理監** 手すりの設置状況はトイレに1カ所、浴室に3カ所設置しており、玄関は下地の補強のみとなっている。その理由として、個々の使い勝手に合わせ、個人負担で設置していただくこととしたが、しか



# 根浜海岸の砂浜再生は

## 大会開催時までに関に合わせる

**議員** ラグビーワールド

カップ2019開催による  
経済波及効果について、

(一財)岩手経済研究所に  
よれば、来場者数13万人、  
約83億円と試算している。

釜石鵜住居復興スタジアム  
(仮称)に隣接している根  
浜海岸は、震災前には年間  
7万人が訪れる地元にも愛  
され、東北でも名が知られ  
た海水浴場であり貴重な観  
光資源であった。震災によ  
り流失した根浜海岸の砂浜  
の自然再生には360年  
(市の調査)の年月を要す  
るとの結果を受け、市とし  
ても養浜事業を検討した経

緯があるが、所管が県のた  
め、調査の可否すらできな  
かった。

先の3月定例会で市長は、  
「根浜海岸の砂浜再生に関  
して、ラグビーワールド  
カップ2019開催までに

可能な限り整備が進むよう、  
最大限、県に協力してい  
く。」としているが、観光資  
源として絶対にはずすこと  
ができないと思うが見解は、

**市長** これまで、当市とし  
ても砂浜再生について検討  
を進めてきており、事業実  
現に向けて復興庁や岩手県  
と協議を重ねてきた経過が  
ある。今年度、改めて県が

根浜海岸の海岸管理者にな  
ることにより、県による事  
業化検討が実施されている。

その中で、根浜海岸復旧養  
浜技術検討委員会などを設  
けて、震災により消失した  
砂浜再生が技術的に可能か

どうかの概略検討を行って  
おり、その結論は今年度中  
に出される予定である。

鵜住居地域には、現在策  
定中の釜石市観光振興ビ  
ジョンにおいて、「自然環  
境・景観の再生と活用」の  
整備と、「スポーツを通じ  
た観光・交流機会」の役割  
や機能が求められており、  
ラグビーワールドカップ2

019釜石大会が開催され  
る釜石鵜住居復興スタジア  
ム(仮称)、駅前の観光交流  
拠点施設等の建設とあわせ、  
美しい砂浜を讃える根浜海  
岸の再生が切望されている。  
今後、根浜海岸復興養浜  
技術検討委員会や復興庁、  
県、当市、地元関係者との  
協議において大会開催まで  
に砂浜が再生できるよう働  
きかけていく。

最終的にうまく日程が合  
わない部分があり、再生が  
間に合わないときには、多  
くの方々に活用できる方法  
がないかこの調査事業の中  
で、目を向け取り組んでい  
ただけるよう関係者に働き  
かける。



根浜海岸

木村琳藏

(21世紀の会)

### 質問項目

- ・水産行政について
- ・観光行政について
- ・個人情報保護法制について
- ・農林行政について

# 補正予算等の審議から

## ナンバープレート

問

ワールドカップを盛り上げるために、特別仕様ナンバープレートを発行しようだが。また、ご当地ナンバー・釜石の可能性は。

答

申し込みは、ウェブもしくは近くのディーラー・整備工場に相談し、寄付をしていただくと図柄入りナンバーを選択できる。ご当地ナンバー申請には、5万台必要だが、釜石市2万7千台、大槌町9千台であり、近隣市町村にお願いしなければ可能性はない。

## マイナンバー制度

問

マイナンバー制度の事業は、機関間の情報

連携が本格開始されることに伴い、総合運用テストの支援業務を委託するというものだが、具体的にはどのような事業か。

答

運用開始に先立ち、27年からマイナンバーの通知が始まり、個人番号カードの交付、国レベルでの情報連携が開始されているが、ことしの7月から地方自治体レベルでの情報連携が開始されることに伴い、それらの連携がきちんとできるかどうかのテストである。

問

現在、個人番号カードの取得は任意になっているが、健康保険証と一体化されれば、個人番号カードは持たなければならなくなる。

現時点における当市の個人番号カードはどれほどになっているか。

答

5月末時点で、約2900枚となっているが、人口に対して約8%強となる。

## 釜石食ブランド

問

今までなぜ食ブランド開発の成果があがっていないのか。

答

平成29年度から事業内容を見直し、体制を強化した。

問

成果が出るまで、もう少しの時間が必要と考える。はしのうえ朝市への釜石のつけ井が好評だったが、今後の展開は。

答

民間実行委員会が主体となつて実施した。のつけ井は、ことしの味覚フェスティバル等への応用を検討したい。

## 市民ホールでの芸術文化祭

問

市民ホールは10月完成とのことだが、教育委員会が昨年作成した市民ホールの概要を知らせるパンフレットでも平成29年秋完成予定と記している。従って、11月の市民芸術文化祭は新しいホールで出来るのか。

答

残念ながら出来ない。建物本体の竣工は10月末の予定だが、機材の搬入等、内部の整備に少なくとも1カ月は要する。

## 海と魚の交流拠点施設の整備

問

新施設建設の決断について、財源計画、運営管理方法、施設規模の見直しは。

答

債務負担行為5億円を上限に建設、財源は1・2億円が交付金、3・8億円が過疎債であり、市の負担は1・1億円になる。

## サブグラウンドの使用

問

ラグビーワールドカップ各競技会場とも、サブグラウンドは使用しないと決定しているが、チームの調整に支障をきたすことはないのか。

答

予定されている開催地すべてでサブグラウンドを使用せず、周辺の体育施設で選手のモチベーション向上を図る予定と聞いている。



## 議員全員協議会

【3月30日】3項目について、それぞれ内容の説明を受け、質疑を行いました。

### 1 釜石市公共施設等総合管理計画(案)について

建築系施設とインフラ系公共施設の今後40年間の更新費用について、全施設を同規模のまま更新することは大変厳しい状況であることが示されました。

施設整備と財源の確保のバランスの取り方についての質問に対し、実質計画等の流れの中で短期的な整備計画を示しながら、予算計上や実施計画の中で理解をいただく考えであるとの答弁がありました。

### 2 第10次釜石市交通安全計画(案)について

釜石市交通安全対策会議において、交通安全対策全般にわたる総合的かつ長期的な大綱についての内容が示されました。

交通安全の署名活動の一本化についての質問に対し、警察、消防、道路関係、国道、県道、市道、労働基準監督署等がそれぞれの立場で活動を進め、地域においては町内会にご協力をいただいているが、調整が必要であれば対応を考えていきたいとの答弁がありました。

### 3 釜石市水道事業経営戦略(案)について

人口減少に伴う料金収入の減少が進む一方、経済成長期に整備した多くの施設で老朽化が進み、施設の更新や耐震化に多大な費用が必要となることで、中長期的な視野で取り組むことが大切であることから、経営戦略を策定したとの内容が示されました。

企業債の残高が順調に減ってきているという事だが、今後、新たな借り入れで加算が生じるのではないかとの質問に対し、現在、借りているものの償還額やその進め方について、また、これから老朽化施設の更新事業を開始するにあたっての事業費等など、グラフに基づいた説明がありました。

## 東日本大震災復興対策特別委員会

【4月28日】復興対策特別委員会を開催し、以下の3項目について当局から説明があり、質疑が交わされました。

### 1 復興事業の進捗状況について

現在の住宅・宅地の完成率は57・6%で、平成29年度末では95・5%に。30年度末で100%の完成を見込んでいる。

### 2 釜石市観光振興ビジョン(案)について

策定されたビジョンの計画期間は、平成29年度から38年度までの10年間。

前期4年間は市民の機運醸成期、後期6年間は、新たな観光コンテンツの創造につなげるための発展期として計画する。

### 3 F P 3 魚河岸にぎわい創出事業施設基本設計の概要について

敷地面積約3870㎡、建物の延床面積約1200㎡で鉄筋造り2階建て。施設の内容は、展示・物販スペース、イベントスペース、レストラン等が入居する商業スペースとなっている。駐車場は常時30台が駐車可能で、イベント時には隣接するお祭り広場が活用できる。

※委員側からは、復興事業の遅れや課題についての指摘、F P 3 魚河岸にぎわい創出事業の詳細な計画を求める意見などが出されました。

### 【現地調査の実施】

5月19日、委員会を2班に分け、国土交通省・釜石港湾事務所の協力を頂き、泉ヶ崎ソーニャード、湾口防波堤の視察を行いました。

港湾事務所長の説明を受けながら、年度内に完成が見込まれる湾口防波堤の進捗状況、復旧事業が終了したあとの利活用が注目されるケーソンヤードについては、船を接岸させ上陸し、環境や土地の状況などを調査致しました。

## 総務常任委員会

4月18日、「新市庁舎建設」に係る勉強会を開催しました。

市財政課の新市庁舎建設推進室から、一般公募を含め市内有識者からなる新庁舎建設検討委員会における審議状況などの説明を受けました。

当該委員会において、教育センターほか分散している行政機能の集約や、路線バス等の交通アクセスの安全性確保、新たにキッズスペースなどによる市民集いの場としての機能提供など、各課題について検討されてきた経緯の確認をしました。

委員からは、庁舎建設等に伴う予算措置について、特に行政機能の集約等による費用増に対して、市の準備してきた基金以外にも有利な起債を得る方策がないか当局に検討を要請したところです。

震災以前からの新庁舎に関わる検討経緯や、委員会における活発な議論などから市民の関心度の高さが感じられ、今後の提言取りまとめの推移を見守りたい。

# 議会の動き

## 議員定数等検討 特別委員会

### ◆平成29年6月23日設置 ◆調査検討期間 平成30年3月定例会まで

◆議員の定数等に関し、必要な事項の調査検討を行うため設置しました。

委員長 木村 琳 藏  
副委員長 菊池 秀 明  
委員 古川 愛 明  
坂本 良 子  
細田 孝 子  
水野 昭 利

## 各種委員

各種団体から市議会に対し委員等の推薦依頼を受け、推薦を行い、それぞれ就任しました。

・港湾振興協議会役員  
合田良雄議員  
・青少年問題協議会委員  
坂本良子議員  
・大林正英議員  
・社会福祉協議会理事  
細田孝子議員

## 議員表彰

5月24日、東京都の東京国際フォーラムで開催された全国市議会議長会第93回定期総会において表彰を受けた議員に対し、表彰状と記念章の伝達を行いました。

議員在職25年以上

山崎長栄議員

松坂喜史議員



釜石市議会のホームページには、皆様から提出された請願・陳情の要旨や、意見書、決議などの議員・委員会提出議案の全文が掲載されています。また、本会議等の会議録や議会だよりのバックナンバーも掲載されていますのでご利用ください。

## あどがき

▼6月から、クールビズを実施し、議場内もノーネクタイで、涼しさを感じる雰囲気ではあったが、一般質問・議案審議は激論が続く熱い議会でした▼議会が終わると同時に、日中の気温も上昇し、今年も暑い夏になる気配です▼各地では、大雨による被害が出ています。市民の皆様、大雨で少しでも、危険を感じたら、避難指示を待つのではなく、逃げ遅れないように、自ら行動しましょう。

(千葉 記)

委員長 赤崎 光 男  
副委員長 坂本 良 子  
委員 千葉 榮  
佐々木 聡  
後藤 文 雄  
細田 孝 子  
松坂 喜 史

## 陳 情

■国民の権利と安心・安全をまもる公務・公共サービスの拡充を求める陳情

※本会議において報告し、出席した議員、職員に陳情の要旨を記載した文書表を配布しました。